

日常と非日常が行き交う—感覚を楽しませる場所

公園は、誰かにとっての日常空間で、同時に他の誰かの非日常空間でもあります。そして公園で出会うものは、人によっては懐かしく、ある人にとっては新鮮で、その感覚・感性・感情は人の数だけあるとも言えるでしょう。

漫然と眺めていても、「ああ、きれい」「ほっとする」「面白い」または「あまり好みでない」というように、感想は湧き出てくるものです。自然や風景と対峙したとき、それら対象を通じてご自身の何かが整理されたり、確認されたりすることで、新しい興味や楽しみのすべとなり、感性に響いているのかもしれない。

非日常のお楽しみは公園のそこここに。日常の中に小さな非日常を取り入れて、束の間、ご自身の感覚を自由に楽しませてみてはいかがでしょうか。

👂 聴いてみる

鳥の声、水の音、草木が風にそよぐ音、カエルや虫の声、遠くからの話し声…。どこからどんな音が聞こえる？



🔍 見てみる

植物、昆虫、生き物を見る、遠くを見る、近くを見る、景色やお庭を見る、空を仰ぎ見る、足元を見る、いつもと違う場所から見る、行く先だけでなく振り返って見る…。今日はどんな発見に出会える？



🚶 歩いてみる

歩く速度を変えてみる、誰かと一緒に歩いてみる、いつもとコースを変えてみる、足元の踏み心地を比べてみる、いつもは通り過ぎる場所でちょっと足を止めてみる…。日常にないワクワクが見つかるかも？



📷 撮ってみる

お気に入りの景色を撮る、花や虫など、生き物を撮る、ひいて撮る、寄って撮る、高さ・目線を変えて撮る、時間を変えて撮る…。どんな素敵なシーンが撮れる？



6月・7月のイベントは全て中止となりました コロナウイルス拡大防止のためご理解のほどお願いいたします

提供：精華町ふるさと案内人の会

森のカフェ Nagatan

*本紙発行時点では休業中。お問い合わせください

さがなか も めん でんしょう かん

相楽木綿伝承館

■場所：水景園 観月楼
■開館日：日月木金
■開館時間：10時～17時

明治初期から昭和10年代にかけて、京都府南部の相楽村（現木津川市相楽）を中心に生産されていた相楽木綿の展示や機械の実演などをご覧ください。
【問合せ】080-6186-9233 *本紙発行時点では休館中。お問い合わせください

けいはんな記念公園 Keihanna Commemorative Park

【入園料】	【営業時間】	【駐車場】
一般 200円 小・中学生 100円	開園 午前9時 閉園 午後5時	料金 大型車 1500円 普通車 400円

【アクセス】JR祝園駅、近鉄新祝園駅より路線バス約9分

詳しくはHPをご覧ください ▶ <https://keihanna-park.net/>

【お問合せ】けいはんな記念公園管理事務所

〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台六丁目1番地 Tel: 0774-93-1200 Fax: 0774-93-2688



APITA

APITA 精華台店
TEL: 0774-98-4101

けいはんな記念公園

Keihanna Commemorative Park

6・7月のお便り

発行日 2020年5月10日
発行元・編集：けいはんな記念公園指定管理者 植彌加藤造園株式会社
けいはんな記念公園ニュースレター vol.92



6月 みなづき 水無月

「雨の匂い」は雨の降り始めによく感じる、懐かしいような大地の香りです。正体は、岩石にしみ込んだ植物由来の成分や土壌細菌が発する匂いの複合的なもので、雨粒がぶつかった時に微小粒子となって放出されるそうです。雨の降り方で匂いにどんな違いがあるか、雨音と香りに注目してみても楽しいですね。

ハグロトンボ

紅葉谷で出会ったハグロトンボ。

カワトンボ科の仲間、水のきれいなところに見られるといわれています。ひらひら舞うように飛ぶ姿も優雅ですが、葉先にとまるときに重ねて閉じる4枚の漆黒の翅がとても印象的。初夏から夏の間、見ることができると、俳句の夏の季語にもなっています。

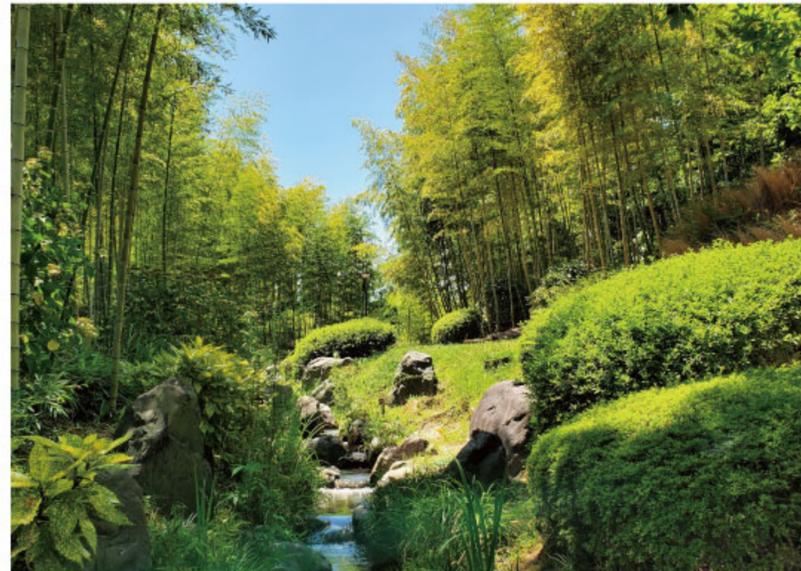


7月 ふみづき 文月

夏本番になってくると、空の青さが増すような気がします。ほぼ電線が視界に入らない公園では、空の広さを楽しめます。暑さを避け日陰を探して歩くことが多い時期ですが、青空と雲の変容や、それを映す水面、緑との配色を様々な場所と時間で見てみると、夏の多様な彩りを感じられます。

緑の競演

谷あいを流れる小川は修景的な流れ。南山城地方の原風景ともいえる竹林や人と生き物とが共生する水辺を再現しています。川沿いの一本道を歩きながら、より一層深まる木々の濃緑に本格的な夏の訪れを感じます。



■ スタッフの見所紹介



キノコの列

日本の昔話にはキノコのお化けがちよくちよく出てきます。その中には、何かをつぶやきながら行列をなして行進するものも…。公園でも、探すと写真のような並んだキノコに出会えます。彼らは何をつぶやくのでしょうか。(スタッフ T.F.)



アジサイ

水無月は「水の月」という意味だとか。関係があるのかなのか、この時期に見頃を迎えるアジサイも水が大好きで、晴れた日が続くとうなだれてしまいます。傘をお供に、元気なアジサイの姿を見に来てください。(スタッフ T.F.)



ツバメシジミ

春先から姿を現す小さなチョウで、街中でも見られます。名前の由来になっている後翅の「燕尾」を使って「偽の頭」のように見せて、敵の攻撃から体を守ります。(スタッフ Y.I.)

■ スタッフの見所紹介



ユウスゲ

淡い黄色で夜に咲き朝に散る花…。歌詞にも詠われるユウスゲは、夕方咲いて翌朝しぼむ一日花。夏の宵をはかなく彩るこの花は、その姿だけでなく、甘やかな香りでも私たちを楽しませてくれます。(スタッフ J.K.)



生きた宝石

夏の夕方になると、セミの幼虫が次々に地上へ出てきて羽化が始まります。羽化したての成虫は透き通る宝石のよう。18:00～21:00頃に公園へ出かけると、羽化の瞬間に出会えるかもしれません。(スタッフ Y.I.)



水田の夕日

公園には、「里の風景の再現」があるのも特徴のひとつ。この時期、棚田では稲がすくすくと育っています。夕刻、水をたたえた水田は、陽を受けて茜色に染まります。心に郷愁を誘う、原風景のひとつです。(スタッフ J.K.)

お知らせ①

あなたの1枚がカレンダーに！
公園の四季彩カレンダー 2021
写真作品募集

皆様からお寄せいただいた写真にて、2021年公園カレンダー「四季彩」を作成します。公園の四季を切り取った皆様の写真を、ぜひお寄せください。詳しくは、公園HPの「お知らせ」をご覧ください。

▶ <https://keihanna-park.net/>

【応募締め切り】
9月27日(日) 必着



京都府木質化事業 テーブル・イス、ベンチ、プランターカバー

京都府「府民利用施設等木質化事業」により、ビジターセンターの上記設備が新しく設置されました。ご活用ください。



お知らせ②

THE MOON ART CONTEST VOI.15 9/19～10/11(予定)
月のアート展
企画公募展作品募集！

月をテーマにした作品を募集します。詳細はHPをご確認ください。

出品申込締切 2020年8月11日(火) 必着

賞：最優秀賞(賞金10万円・ギャラリー使用料免除)ほか

<透かしほおずき> —公園オリジナル商品のご紹介—



ほおずきの繊維だけを残して乾燥させた、お手製「透かしほおずき」。そのままでも、ミニライト等を使っても、しつらえやちょっとした飾りとして、涼やかな表情を添えてくれます。

(100円/1個・数量限定)